

あとがき

19世紀末に Brown and Schäfer (Phil Trans Roy Soc 179: 303-327, 1888) が、サル大脳皮質各所の広範な破壊実験を行い、両側側頭葉内側部破壊例では記憶や情動に影響が現れることを記述したのを嚆矢として、Gudden (1896) や Bechterew (1900) の脳炎患者の臨床病理学的研究、Klüver と Bucy (1938) のサルでの破壊実験研究、Scoville と Milner (1957) による難治性てんかん患者の側頭葉内側部両側除去手術などによって、海馬を中心とする領域が記憶形成に密接に関与することがわかってきた。以来 50 年余にわたり記憶・学習の研究は、心理学、生理学、解剖学的研究から大いに発展し、記憶の種類、記憶の保持時間、記憶に関与する脳部位などの所見が積み重ねられてきた。

また記憶形成のメカニズムを探る研究では、1970 年代前半に Bliss や Lomo らが海馬で起こる long-lasting enhancement の現象を報告してから、細胞レベルで起こる長期増強現象の分子生物学的、生理学的研究が爆発的に進んできた。当初はニューロン個々、あるいは one-to-one の研究であったが、近年では細胞集団としての活動の解析や領域間の interaction の研究へと発展し、さらに分子・遺伝子学的な解析、理論学的研究が注目を浴びている。しかしながら、記憶の形成、貯蔵、想起のメカニズム、コーディングのメカニズム、エピソード記憶と手続き記憶の違い、情動の記憶など、未解明の点もいまだ多く残っている。

本特集では、それぞれの分野の第一線でご活躍の方々に、記憶の遺伝子・分子メカニズム、集団としての細胞および神経回路活動、記憶の理論的側面からエピソード記憶の数学的構造、大脳皮質、大脳基底核、小脳の関与するシステムとしての記憶機構、臨床の面から作話、てんかん性健忘などについての新しい所見、研究展開をご提示いただいた。

お忙しい中、ご執筆くださいました著者の方々にこの場をお借りして、深甚なる感謝を申し上げます。おかげをもちまして充実した号となりました本特集が、読者のご理解を深め、今後の研究のさらなる進歩のきっかけになれば幸いです。

(石塚典生)

編集顧問

生田 房 弘
臺 弘
大友 英 一
金澤 一 郎
近藤 喜代太郎
酒田 英 夫
佐野 圭 司
島津 浩
杉田 秀 夫
高倉 公 朋
塚田 裕 三
中里 洋 一
彦坂 興 秀
平山 恵 造
藤澤 浩四郎
真柳 佳 昭
萬年 甫
水野 美 邦
柳澤 信 夫

編集委員

石塚 典 生
糸山 泰 人
岩田 誠
内山 真一郎
梶 龍 児
川島 隆 太
河村 満
高坂 新一
作田 学
辻 省 次
寺本 明
中込 忠 好
中野 今 治
水澤 英 洋
(五十音順)

BRAIN and NERVE

(第 60 巻 第 7 号)

2008 年 7 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,780 円 (本体 3,600 円 + 税 5 % (配送料実費))
(2008 年、年ぎめ予約購読料 34,860 円 (配送料弊社負担))

E-mail: bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(高瀬・山内・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は ㈱医学書院が保有します。
- JCLS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に ㈱日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。